熊笹の遺言

第２回横濱学生映画祭
横浜国際映像文化祭2003
学校対抗部門グランプリ受賞

Az Contest 2003
準グランプリ／観客賞受賞

第13回あきた十文字映画祭
新人監督コンペティション
「北の十文字賞」／観客賞受賞

第７回 JPPA AWARDS 2003
学生部門エディティング・カテゴリーⅡ部門
ゴールド賞受賞

全国ハンセン病療養所入所者協議会推薦

2002/60min/ｶﾗｰ/DV/SD 60i 16:9 ﾜｲﾄﾞ
製作・著作 日本映画学校　配給「CINEMA塾」
宣伝問合せ 疾走ﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝ内「CINEMA塾」(今田・原田)　TEL 03-5360-1668　FAX 03-5360-1669
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.cinema-juku.com/kumazasa/　E-mail kumazasa@cinema-juku.com

熊笹の遺言

こんなにチャーミングなおじいさん、おばあさんたちは
広い世間にもそんなにはいない。
スクリーンで見ただけの人々に
こんなに親しみを感じるということはめったにないことだ。　映画評論家 **佐藤忠男**

私は『火花』という作品で、ハンセン病作家であった北条民雄の
二十三歳の生涯を書いたけれど、年老いた病者の現在については書いていない。
若い北条は荒ぶる魂にまかせて自己の悲惨と救済の物語を書き継いでいったが、
この老人たちの含羞（がんしゅう）に満ちた言葉の輝きはどうだ。
北条など比較にならぬほどながい時を生きて、いま語りはじめてみれば、
彼らの言葉は大きな川のようだ。
映画には、告発も批判もふくまれていない。三者三様の、ありのままの姿が描かれる。
若い映像作家たちの、覚悟のあらわれであろう。
撮る側と撮られる側の真摯さと理解が、静かに響き合って生まれた佳作である。

作家 **髙山文彦**

心から美しい絵をみたと思った。
絵は三点のお年寄りの肖像画である。女性ひとりと男性ふたり。
三人が三人とも、顔の輪郭が溶けていたり、口跡が悪かったり、目の光が奪われている。
そうかハンセン病の元患者さんなんだと思う。
だがそんなふうに考えるのはほんのひとときにすぎない。
じっとみつめていると、三人三様の、存在の色気とでも呼びたいものがただよってくる。
絵のなかからいのちの裸身が乗り出してきて、語りかけてくるのだ。
知らず知らずのうちに笑顔で応答している私がいた。

社会評論家 **芹沢俊介**

―― 推薦 ――
全国ハンセン病療養所入所者協議会
カトリック視聴覚メディア協議会
財団法人キリスト教視聴覚センター

製作総指揮　原一男
ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ・編集　原田芙有子
撮影　剣持文則
録音　大池正芳
監督・編集　今田哲史
製作・著作　日本映画学校
配給　「CINEMA塾」

2002/60min/ｶﾗｰ/DV/SD 60i 16:9 ﾜｲﾄﾞ
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.cinema-juku.com/kumazasa/
E-mail kumazasa@cinema-juku.com
宣伝問合せ 疾走ﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝ内「CINEMA塾」（今田・原田）
TEL 03-5360-1668　FAX 03-5360-1669

物語

群馬県草津町にある国立ハンセン病療養所、栗生楽泉園。今も250人以上の入所者が暮らしている。

遠い昔に追われた故郷　闘いはまだ終わってはいない

ハンセン病違憲国賠訴訟を勝訴に導いた闘士、谷雄二（こだま）さん(70)。療養所を誰もが自由に利用できる総合医療福祉施設にするため、日夜活動に励む。園の仲間と、居ながらにして社会復帰したいと考えている。しかし一方で、療養所の外で社会生活を送りたい、その思いが心の中に捨てきれずにある。谷さんは、自分の原点を見つめるために、故郷へと旅立つ。

けっして呼ばれることのなかった「おばあちゃん」という言葉

故郷金沢を離れこの地に来た浅井あいさん(82)。64年間連れ添ってきた夫に4年前先立たれた。盲目のあいさんは夫の影を肌で感じ、日々の生活を営んでいる。そのような中、故郷への里帰りで目の不自由な少年、吉田大基（ひろき）君と出会う。そして二人の文通が始まった。約半年後、大基君はあいさんに会いたいと、楽泉園に向かう。あいさんの胸には期待と不安が入り交じる。

失われゆく視力の中　妹への想いを描き続ける

50年ほど前から絵画を続けている鈴木時治さん(76)。筆を握る指がなく、視力もほとんどない。死ぬまで絵を描きたい、そして死んだら故郷前橋を流れる利根川に散骨して欲しい。そう願う彼が今、少女の絵を胸に抱き利根川に向かう。描かれている少女はかつてこの療養所で自殺した末の妹であった。

裁判の勝訴から約1年、長い隔離生活を送ってきた彼らはどのように社会と向き合っていくのだろうか――

2004年6月19日(土)より感動のロードショー！

6/19（土）～7/2（金）モーニング	AM.10:50より1回上映（終了11:55）
7/3（土）～7/16（金）レ　イ　ト	PM.8:40より1回上映（終了9:45）

❖期間中、トークイベントも実施！　詳しくは劇場までお問い合せください。

特別鑑賞券1000円好評発売中！

当日券／一般1300円、学生1100円、高・中・小・シニア1000円

シネ・ヌーヴォ
地下鉄中央線「九条駅」
6番出口下車、徒歩3分
（大阪市西区九条1-20-24）
TEL.06-6582-1416
ホームページ
http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/